



新作ドキュメンタリー映画

精神病院の ない社会

大熊一夫監督作品

2019年 松江市市民活動センター
5F 交流ホール

5/19 (日)

「むかしMattoの町があった」は
1980年までのイタリア精神保健
改革の物語でした。

あれから38年経った今のイタリア、
そして日本の現状を映像で追います。

山陰初上映!

大熊一夫監督 新作ドキュメンタリー映画 精神病院のない社会 上映&監督講演会



大熊一夫 プロフィール

ジャーナリスト、東大(科学史科学哲学)卒、元朝日新聞記者・大阪大学大学院教授(国立大学初の福祉系講座初代教授)。

1970年に私立精神病院にアルコール依存症を装って入院、『ルポ・精神病棟』を新聞に連載、鉄格子の内側の虐待を白日のもとに。

『ルポ・精神病棟』(朝日新聞社)、『精神病院を捨てたイタリア捨てない日本』(岩波書店)など著書多数。

2008年フランコ・バザーリア財団からバザーリア賞を授与される。

イタリアのトリエステでは、38年も前に精神病院はきれいさっぱり廃止されました。一方、日本では、縛る・閉じ込める・薬漬けにするといった行為が続く病院もあります。この映画の上映とともに、大熊監督のお話が、どのように改革をすすめていくのか、考えるきっかけになれば幸いです。



上映時間(開場30分前)

① 11:00~13:00 ② 16:30~18:30

大熊一夫監督 講演会 14:00~15:00

リレートーク 15:00~15:30

参加費(資料代)

前売 1000円 / 当日 1200円 / 高校・大学生 800円

中学生以下・介助者 無料

問い合わせ

NPO法人YCスタジオ

〒690-0064 松江市天神町82 Tel・Fax : 0852-25-9592 携帯 : 090-3639-1862 (木村) E-mail : info@yca.or.jp

主催 「精神病院のない社会」上映実行委員会、NPO法人YCスタジオ

共催 島根県精神保健福祉会連合会、島根子ども若者の居場所応援ネットワーク

後援 松江市/島根県社会福祉協議会/松江市社会福祉協議会/島根大学人間科学部/島根県社会福祉士会/朝日新聞松江総局/毎日新聞松江支局/読売新聞松江支局/山陰中央新報社/共同通信社松江支局/TSK山陰中央テレビ/BSS山陰放送/日本海テレビ/エフエム山陰